

平成28年度(第38期)事業報告書

I. 当期の経営概況

当年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善傾向で続く中、緩やかな回復基調が続きました。設備投資は、2016年以降持ち直しの動きに足踏みがみられ、消費は、所得に較べ弱い伸びとなっていますが2016年後半に持ち直しの動きがみられるようになりました。

社会保障分野の動向をみると、少子高齢化の進展による少子化対策・医療制度・介護保険制度・年金制度等の課題に対し、医療保険の財政基盤安定化や負担の公平化、医療費適正化の推進、予防・健康づくりの促進等に関連する施策が段階的に実行されています。

労働行政運営をみると、平成27年に設置された「過重労働撲滅特別対策班(かとか)」による違法な長時間労働の摘発など、長時間労働対策は引き続き、最重要課題の一つとなっています。また、職場におけるメンタルヘルス対策として、一昨年ストレスチェック制度が施行され、各企業で具体的な取り組みが始まり、高ストレス者への対応や集団分析等の問題が顕在化しています。また、昨年6月には全ての事業者が化学物質のリスクアセスメントが義務付けられ、化学物質管理への指導が強化されました。

このような社会情勢の中、当協会は、「誠心誠意」の理念に基づき、「県民の医療福祉と保健衛生の向上」をミッションとし、業務推進に努めました。

調査研究および普及啓発事業(継1事業)においては、前期実績にもとづき計画しましたが、年報(健診実施実績データの年次報告書)について、今期は発行しなかったため、事業費支出が若干減少しました。予防医療事業および健康づくり支援事業(他1事業)においては、巡回健診を含め富山・高岡各施設で行う生活習慣病予防健診が伸長、一昨年から施行されたストレスチェックの受託増加と合わせて、全体としては増収となりました。

設備投資としては、胸部デジタル X 線検診車を2車両整備しました。今後、本格化が予定されているデータヘルスへの対応や健康経営に向けた事業場への支援等の先進事例の検討を推進しました。社内環境整備では、人材育成やワークライフバランスの充実に努め、富山労働局より安全衛生優良企業、経産省関連では、健康経営優良法人認定(ホワイト500)を受けました。

その結果、当年度の経常収益は1,973百万円(前期比4.3%増)で、経常増減額は101百万円(前期比6.3%増)となりました。

II. 調査研究および普及啓発事業(継1事業)

1. 調査研究

健診結果等のデータを利用し、法定項目等の有所見状況と生活習慣状況を県内全体と単一事業

場で視覚的に比較した統計資料を配布しました。また、集団がん検診の実施状況や精検率・発見率を纏め、関係機関への報告等を行いました。研究分野では、検診手法の有効性、生活習慣と健診結果の関連、働く世代の健康診断結果を職種別に比較し、職種によって健康診断に相違があるかを検討する疫学的研究を行い、学会発表や広報誌上への掲載等により公開しました。

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度
事業年報	—	480 部
研究発表	3 件	3 件

2. 普及啓発

広報誌発行では、事業場や団体、関係機関向けに年 4 回計 7,610 部を配布しました。他機関・団体の行うキャンペーンへの協力として施設内ポスター掲示や Web での広報、事業所へのパンフレット配布や個人へのグッズ配布、世界禁煙デーの街頭協力等を行いました。また、第 36 回健康セミナーとして健康経営セミナー2017「健康経営の実践とその課題」を北日本新聞社との共催で開催しました。

富山県 THP 推進協議会事務局として、労働行政機関・労働災害防止団体等と連携し、富山県産業安全衛生大会や全国産業安全衛生大会に参加し、THP 推進協議会活動を行いました。全国 THP 推進協議会表彰には、富山小林製薬株式会社を推薦し進歩賞を受賞しました。

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度
広報誌発行	7,610 部	7,320 部
健康セミナー(参加員数)	180 人	125 人
全国 THP 推進協議会表彰	富山小林製薬(株)	ダイヤテックス(株)

III. 健康づくり支援事業(他1事業)

1. 健康づくり支援

労働安全衛生法や高齢者医療確保法、健康増進法等に基づき、医師や専門スタッフを職場に派遣し、健康診断有所見者に対する産業保健相談・メタボリックシンドローム対象者に対する特定保健指導・電話相談を行い、集団の運動・栄養・健康教室等を実施しました。地域保健分野では、介護予防教室や国保の動機づけ支援対象者の運動教室を実施しました。

また、高岡総合健診センターでは月 2 回ストレッチ教室・リフレッシュ教室、富山健康管理センターでは週 2 回健康運動教室を開催しました。

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度
運動・栄養・健康教室(訪問)	204 回	172 回
産業保健相談	2,095 人	2,241 人
特定保健指導	1,438 人	1,441 人
電話保健相談	302 件	374 件

2. メンタルヘルス

改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度2年目のH28年度では、ストレスチェック実施件数が大幅な伸びとなりました。また、開発したメンタルヘルスータルサポートは、顧客の満足度向上の一助となりました。また健康セミナーにおいても、ストレスチェック事後フォローの取り組み事例を紹介し好評を得ました。

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度
教育研修・セミナー	65 回	52 回
EAP(従業員支援プログラム)サービス	35 社	13 社
ストレス検査	47,081 人	6,083 人
カウンセリング	156 回	148 回

IV. 予防医療事業(他1事業)

1. 巡回健診および施設健診

巡回健診では、県内一円の職域や地域の安衛法健診やがん検診等の受診率の向上に努め、施設健診では、巡回健診未受診者対応や人間ドック等のより満足度の高いサービスを実施し、受診後の事後フォロー向上に努めました。結果として、巡回健診、施設健診とも増加傾向となりました。健診種別で見ると、安衛法による定期健康診断、生活習慣病健診とも受診件数が伸長しました。

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度
巡回健診(集団健診)	272,891 件	266,436 件
健康管理センター(施設健診)	27,958 件	27,120 件
高岡総合健診センター(施設健診)	32,865 件	29,504 件
定期健康診断等	185,978 件	179,158 件
雇入時健康診断	2,012 件	2,001 件
特殊健康診断	46,917 件	46,255 件
その他検査等	11,533 件	11,262 件
生活習慣病健診	35,138 件	33,142 件
ドック健診	3,490 件	3,130 件
住民検診	31,191 件	31,288 件
学校健診	16,383 件	16,824 件
精密検査の勧奨	4,110 事業場	3,878 事業場

2. がん検診

集団検診等による5大がんの検診受診数状況は、胃がん、子宮がん、乳がん、大腸がん、肺がん検診とも受診件数が伸長しました。

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度
胃がん検診	35,710 件	35,175 件
子宮がん検診	8,918 件	7,800 件

乳がん検診	12,891 件	11,398 件
大腸がん検診	51,312 件	47,929 件
肺がん検診	140,892 件	135,258 件

V. 富山市角川介護予防センター事業(他2事業)

基本事業(指定管理事業)は3ヶ月コースでは減少。自主事業の介護予防会員は増加となりました。また、昨年から、介護予防を目的とした脳活性化教室(ライフキネティック)をスタートさせました。

区分	コース	平成 28 年度	平成 27 年度
基本事業	QOL ツアー体験コース	762 人	808 人
	QOL ツアー3ヶ月コース	14,377 人	15,662 人
自主事業	介護予防会員	62,235 人	60,053 人
	メタボ教室	2,840 人	2,688 人
	からだドック	528 人	243 人
	脳活性化教室(ライフキネティック)	380 人	74 人
自主事業 (委託事業)	介護予防教室	1,592 人	1,197 人
	特定保健指導	542 人	630 人

VI. 理事会・評議員会の開催

○理事会

第 1 回	平成 28 年 5 月	計算書類・事業報告、公益目的事業計画実施報告の承認、評議員会の招集の決定
第 2 回	平成 29 年 3 月	事業計画・収支予算、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認

○評議員会

第 1 回	平成 28 年 6 月	計算書類・事業報告、公益目的事業計画実施報告の承認
-------	-------------	---------------------------

■ 附属明細書について

平成 28 年度事業報告書には、「一般財団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書(事業の内容を補足する重要な事項)が存在しないため、作成しない。